

令和6年度千葉市健康づくり推進協議会
第1回食育推進部会議事録

- 1 日 時：令和6年8月7日（水）午後7時～午後8時40分
- 2 場 所：千葉市役所 1階「正庁」
- 3 出席者：（委員）

市橋由美子委員、井本節子委員、宇野直樹委員、大濱洋一委員、
兼松宏幸委員、斎藤昌雄委員、佐久間正明委員、篠原雅子委員、
鈴木克彰委員、高澤みどり委員、鶴岡姫美子委員、
永井一宗委員、長谷川喜美子委員、渡邊智子委員
（委員16名中14名出席）

※欠席委員

安達浩二委員、森川岩視委員

（事務局）

白井健康福祉部長、椎名健康福祉部技監、高塚保健福祉総務課保
健師活動推進担当課長、金田健康支援課長、田中生活衛生課食品
衛生担当課長、落合保健所食品安全課長、江川保健体育課学校給
食担当課長、日高稲毛保健福祉センター健康課長、福島農政課長
補佐、斎藤廃棄物対策課長補佐、高桑幼保支援課長補佐、和田健
康推進課長、山田健康推進課歯科保健推進担当課長、石原健康推
進課長補佐、久保田健康推進課長補佐

4 議 題

- （1）第4次千葉市食育推進計画について
- （2）第4次千葉市食育推進計画取組状況について
- （3）その他

5 議事の概要

- （1）第4次千葉市食育推進計画について
事務局から第4次千葉市食育推進計画について説明した。
- （2）第4次千葉市食育推進計画取組状況について
事務局と各関係機関・団体から令和5年度の活動及び令和6年度
の活動計画について報告を行った。

(3) その他

部会長から食育推進に係るアンケート集計結果について説明した。
事務局から第4次千葉市食育推進計画啓発媒体、食育のつどい、
次回部会開催について説明した。

6 会議経過

午後7時開会

(石原健康推進課長補佐) お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただ今から、「令和6年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会」を開催させていただきます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、健康推進課課長補佐の石原でございます。よろしくお願いいたします。会議内容は、議事録作成のため、録音させていただきますのでご了承くださいようよろしくお願いいたします。本部会の開催につきましては、千葉市健康づくり推進協議会設置条例第7条第7項の規定により、委員及び臨時委員の半数以上の出席が必要でございます。委員総数16人のうち、14人のご出席をいただいておりますので、会議は成立しております。また、千葉市情報公開条例の規定により、千葉市の審議会などの会議は原則公開となっておりますので、本部会につきましても、公開での開催とさせていただきます。議事録につきましても、部会長の承認による確定後、千葉市ホームページなどで公開しますので、あらかじめお知らせいたします。それでは、会議に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。まず席次表、次に次第、千葉市健康づくり推進協議会 食育推進部会 委員名簿、事務局出席者名簿、資料1-1「第4次千葉市食育推進計画概要版」、資料1-2「第4次千葉市食育推進計画本編」、資料2-1「第4次千葉市食育推進計画取組一覧（食育推進部会員）」、資料2-2「第4次千葉市食育推進計画取組一覧（千葉市）」、資料2-3「第4次千葉市食育推進計画 数値目標一覧」、資料3「千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会員における食育推進に関するアンケート集計結果」、資料4「令和6年度食育月間啓発イベント『食育月間パネル展』実施報告書」、資料5「リーフレット『一生、食育』」、資料6「千葉市食育&消費者教育情報誌『おいしくタベルたのしくマナブVo.9』」、資料7「大学と連携した健康に配慮した弁当開発及び販売についてプレス資

料（コープみらい）」。参考資料1-1「千葉市健康づくり推進協議会設置条例」、参考資料「1-2 千葉市健康づくり推進協議会の検討体制」、以上の資料をお配りしています。お手元の資料に過不足などはございませんでしょうか。それでは、会議の開催にあたりまして、健康福祉部長の白井よりご挨拶を申し上げます。

（白井健康福祉部長）本日は、お忙しい中、また、夜分にもかかわらず、ご出席いただきまして、ありがとうございます。また、日頃から本市の保健福祉行政をはじめとして、市政各般にわたり、ご支援・ご協力を賜っていること、大変ありがとうございます。本部会ですが、関係機関の皆様が、それぞれの取組みや課題を共有し、情報交換をすることで、相互の連携を深め、より効果的な食育の推進に寄与することを目的として設置しております。本市の食育の取組みは、昨年度末に、本部会委員の皆様のご協力のもと、「第4次千葉市食育推進計画」を策定し、今年度は、この計画に基づく食育推進の初年度となります。計画の基本的な考え方は、前計画から大きな変更はございませんが、国の方針を踏まえ、新たに、食塩摂取量、果物摂取量の目標値を設定するなど、より健康を意識した食育の実践、また食品ロスの削減やエシカル消費など、SDGsの観点も取り入れた計画となっておりまして、計画の推進には、皆様方と連携・協働して取り組んでいくことが大変重要であると考えております。本日は、皆様方の取組みなどについてご報告いただくとともに、食育推進に係る課題解決に向け、忌憚のない意見交換が出来ればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（石原健康推進課長補佐）続きまして、今年度新たに委嘱されました委員3名をご紹介します。はじめに、齊藤久美子委員に代わりまして、千葉市小中学校長会 幸町第三小学校長、井本節子委員でございます。

（井本委員）よろしくお願いいたします。

（石原健康推進課長補佐）続きまして、安藤裕子委員に代わりまして、日本チェーンストア協会関東支部参与、兼松宏幸委員でございます。

(兼松委員) よろしくお願ひします。

(石原健康推進課長補佐) 続きまして、泉重博委員に代わりまして、千葉市PTA連絡協議会副会長、鈴木克彰委員でございます。

(鈴木委員) よろしくお願ひします。

(石原健康推進課長補佐) その他の委員につきましては、恐れ入りますが、お手元の委員名簿にてご確認いただき、紹介は省略させていただきます。また、事務局の職員につきましては、お手元にお配りしております、名簿により紹介に代えさせていただきます。それでは、ただいまから、会議に入らせていただきます。渡邊部会長、議事の進行をお願いいたします。

(渡邊部会長) こんばんは。ここから議事の進行をいたします。よろしくお願ひいたします。本部会の議事録の署名人については、部会長の署名によることとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

<異議なし>

異議がないようですので、部会長の署名によることといたします。それでは、議題1「第4次千葉市食育推進計画について」、事務局より説明をお願いします。

議題1 「第4次千葉市食育推進計画について」

(和田健康推進課長) 健康推進課長の和田です。よろしくお願ひします。

第4次千葉市食育推進計画については、昨年度、策定作業を行いまして、本部会を2回開催した後、パブリックコメント手続きを経て、本年3月に策定いたしました。出来上がりました冊子を委員の皆様には郵送させていただいておりますが、本日は、冊子の手持ち在庫が乏しいため、机上にはコピーしたものを置かせていただいております。これから計画の概要について説明させていただきますが、本日は皆様の机上に置かせていただきました計画の

概要版に基づき説明いたします。資料 1-1 「第 4 次千葉市食育推進計画の概要版」をご覧ください。

本計画は、食育の推進に関する基本的な事項が定められた食育基本法に規定する市町村食育推進計画となります。また、本市の健康増進計画である「健やか未来都市ちばプラン」や、子ども、学校、農業、消費生活、環境など多様な市の個別部門計画との整合性をはかり、国や県の食育推進計画の基本的な考え方を踏まえた上で、本市の地域特性や実情を反映させた計画となります。計画期間は、令和 6 年度から令和 9 年度までの 4 年間です。国や県の計画との計画期間のずれを調整するために、本計画の計画期間は 4 年間といたしました。それでは、表紙をおめくりいただき 1 ページをご覧ください。

本計画は、市民一人ひとりが食の大切さを考え、健康で心豊かな生活が送れるよう、市民、行政、関係団体等が連携して取り組むための行動計画として策定いたしました。こちらのページには、第 3 次である、前計画に掲げた指標の達成状況を踏まえ、千葉市の現状と課題を掲載しております。第 3 次計画の計画期間は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の時期とちょうど重なっておりますので、その影響等もあったかと思いますが、計画に掲げた指標の達成状況としては、「変化なし」や「悪化」した指標が大変多い結果となりました。

それらの中から、「野菜の摂取量が不足していること」、「塩分をとりすぎていること」、「地産地消の推進や食品ロスの削減に取り組む必要があること」、「共食の機会が減っていること」を掲載しています。

次に、2 ページをご覧ください。基本理念につきましては、第 1 次計画からの理念を継承し「子どもから大人まで、市民一人ひとりが『食』を大切に、正しい知識と選ぶ力を身に付け、健全な食生活を実践することで、『こころ』と『からだ』の健康と豊かな人間性を育む。」としております。その下に「基本目標」を 3 つ掲げております。それぞれの基本目標の中にはいずれも「つながる食育」というキーワードを用いております。計画本編の 26 ページ、27 ページには、基本目標ごとに「項目」と「指標」、「目標値」を設定しておりますので、お時間のあるときにご確認いただければと存じます。

次に、3 ページから 4 ページにかけては、計画本編の第 4 章「食育施策の

展開」の中にございます、食育の主な取組みを掲載しております。まず、3ページの1「家庭・地域・職域における食育の推進」です。こちらには、健康づくりのための食育や、妊産婦・乳幼児等への食育、高齢期における食育、歯科保健活動における食育、家庭・地域における食育、食品関連事業者や職域における食育の推進といった6つの項目を設け、これらに対応する市の取組みの一部を掲載しています。

続きまして、2点目の「保育所、認定こども園、幼稚園、学校等における食育の推進」です。保健活動や教育活動を通じた食育や指導体制の充実、給食を通じた食育の充実、農業体験や食品の調理等の体験活動、保護者への普及啓発、地域との連携の推進といった5つの項目を設け、これらに対応する市の取組みの一部を掲載しています。

続きまして、4ページに移ります。3点目の「持続可能な社会の形成に向けた食育の推進」です。SDGsの考え方を積極的に推進していくために、少し力強いメッセージを発信することを意識して項目等を整理いたしました。ここでのSDGsの視点としては、「作る責任・使う責任」や「気候変動」、また「海・陸等の環境保全」等の意味合いも含めております。具体的な内容としては、市内産農畜産物への理解の促進や地産地消の推進、生産者と消費者との交流と体験活動の促進などのほか、「環境負荷軽減のための食育の推進」ということで、前計画の「環境に配慮した食育の推進」から少し強めの言葉にいたしました。内容としては、例えば、有機農産物を活用した給食のモデル実施と有機栽培について伝えていくための取組みや、「食品ロス」、「てまえどり」といった取組みを盛り込んでいます。

続きまして、4点目として「食の安全・安心等に関する情報の提供」です。市民のみなさんが、食品の安全性等に関する基礎知識を持ち、自ら判断できるよう、情報提供を行って参ります。

続きまして、5点目として「食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立」です。食育推進運動の展開や食育推進に係る人材育成などを1つの項目として捉えて進めて参ります。なお、計画本編の第4章には、関係各課、関係機関・団体による取組みが掲載されておりますので、後程ご確認いただければと存じます。

次に、5ページと6ページのライフステージ別の取組みをご覧ください。市民一人ひとりが、世代に応じて健全な食生活を実践できるよう、各世代の

特徴をもとに行動指針を示し、ライフステージ毎に習得したいこと、身につけて欲しいことを一覧にし、目標ごとの目指すべき姿と、市民自ら取り組んでいただく内容を明記し、市民一人ひとりの取組みを後押しできるようライフステージ別行動指針を掲載しています。

最後に裏表紙をご覧ください。第4次計画の数値目標については、11の目標に41の指標を設定しています。先程ご説明しました、食育施策の展開の取組状況と共に毎年進捗状況を調査し、食育の推進に努めてまいりますので、引き続きご協力くださるようお願いいたします。私からの説明は以上です。

(渡邊部会長) ここまでの説明について、ご質問がございましたら、お願いいたします。

<質問なし>

よろしいでしょうか。

次に、議題2「第4次千葉市食育推進計画の取組状況について」でございます。最初に、市の取組みについてご報告をお願いいたします。

議題2「第4次千葉市食育推進計画の取組状況について」

(渡邊部会長) 資料2-2「第4次千葉市食育推進計画取組一覧、資料2-3「第4次千葉市食育推進計画数値目標一覧」をご覧ください。

まず施策展開1「家庭・地域・職域における食育の推進」について、健康推進課からお願いします。

(和田健康増進課長) 最初に、資料の構成についてご説明します。資料2-2「第4次千葉市食育推進計画取組一覧(千葉市)」をご覧ください。資料の一番左には取組みNoを振っており、全部で97の取組みを掲載しております。その右の基本施策と方向性、取組みと内容、対象、所管については、いずれも計画本編第4章に掲載しているものとなります。その右の実施内容は、令和5年度の各取組みの概要と実績数値、そして、令和6年度の実施計

画、取組内容を掲載しております。次に、資料2-3「第4次計画の数値目標一覧」をご覧ください。こちらの資料は、計画本編の26ページ、27ページに掲載しております数値目標の一覧と、網掛けした列のところに各数値の最新の値、その横には、参考情報として、第2次の健やか未来都市ちばプランの最終評価の数値と評価を記載しております。

それでは、取組みの説明に入らせていただきますので再び資料2-2をご覧ください。当課からは計画No.1減塩の普及啓発についてご報告いたします。減塩については以前から取り組んで参りましたが、今回本計画では、新たに、数値目標として食塩摂取量の減少及び減塩に気を付けた食生活の実践について掲載したところでございます。市民の方へ減塩に関する教室の開催などを通じて、「おいしく減塩」のためのフードモデルやリーフレットを使用し、より具体的にわかりやすい工夫等を各区健康課において、食育推進員の皆様のお力をお借りしながら取り組んでいるところでございます。また令和3年度からは、食品関連企業と食習慣の改善に向けた連携協定を締結しており、「ちばしお、減らしお、ヘルシーライフ」を活動名に掲げ、減塩の普及啓発に取り組んでいるところでございます。民間企業と共同でレシピを開発し、市内スーパーマーケットへの配架や、商業施設でのイベント等を実施しております。今年度は8月5日から千葉市役所の2階食堂において共同開発した減塩メニューランチを提供しております。来庁された方々に実際に食べていただくことで減塩の工夫を体感していただき、意識の向上、醸成を図っております。報告は以上です。

(渡邊部会長) ありがとうございました。続いて、施策展開2「保育所、認定こども園、幼稚園、学校等における食育の推進」について、保健体育課からお願いします。

(江川保健体育課学校給食担当課長) 保健体育課学校給食担当課長江川です。よろしくお願いいたします。資料2-2 No.65、地産地消学校給食の試食会について報告をいたします。市民を対象とした試食会は第3次計画で実施しております。コロナで見合わせもしていましたが、昨年度から再開しております。昨年度は3か所の学校給食センターと小学校3校で実施し合計86名の参加を得ました。目的は地場農産物を使用した学校給食を提供し、広く市民

へ給食の共通理解を図ることとしています。栄養教職員が学校給食の歴史や献立の紹介、今も昔も揚げパンが人気メニューであることや衛生管理についてのクイズを交えながら伝えました。参加者からは小学校に進学する保護者に給食の内容について教えた、数多くの食材を使うことが印象に残った、給食試食会に参加してよかった等と言われております。今年度も実施予定であり、ホームページ等、8月号の市政だよりで募集案内が掲載されますので、ぜひご覧いただければと存じます。

（渡邊部会長）ありがとうございました。続いて、施策展開3「持続可能な社会の形成に向けた食育の推進」について農政課、廃棄物対策課からお願いします。

（福島農政課長補佐）農政課福島です。資料2-2のNo.66からNo.70、No.72の説明になります。No.66市内産農畜産物への理解の促進については市内の農業や農畜産物への関心・理解を深めるために行っています。令和5年度は親子農家1日体験は実施できませんでしたけれども、小学生を対象に「おおまさり」収穫体験を実施しました。No.67生産者による出張授業につきましては、児童及び保護者等に市内産農畜産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについてお伝えしています。令和5年度は教育委員会により全7回小学校で実施しました。No.68市内産農畜産物の見える化については市内産農畜産物を知ってもらい、購入・飲食できる機会を増やすため、市内産農畜産物を詰め合わせた「つくたべボックス」を年4回販売しました。オンライン料理教室ともコラボし、話題性を高めました。「やさいバス」を利用した市内産野菜の流通拡大により、市内スーパーなどに増加しました。そういった売り場について「千葉県つくたべ」のホームページやSNSを活用した販売促進の支援、市民への周知活動を実施しました。No.69給食への市内産農畜産物の導入につきましては、小・中学校等の学校給食において、関係機関と連携し、市内産農畜産物の利用拡大を図ります。令和5年度の市内産農畜産物の供給品目は11品目。3つの給食センターへの品目ごとの供給は、コマツナ、ニンジン、ホウレンソウの市内産割合が高く、年間使用量の半数以上を市内産で賄うことができました。No.70農業体験の参加・利用の促進については市民が気軽に農業に触れられる機会として、農業体験企画の実施や支援を行うと

ともに、観光農園・市民農園、所管する農業関連施設の利用の促進を図っています。三井アウトレット幕張にて市内観光農園のイチゴを販売し、イチゴ観光農園のPRを実施しました。令和5年度の市民農園、体験農園、観光農園等の事業実績はコロナ禍の需要落ち込みが回復し利用者が伸びた一方で、高齢化や人手不足で観光農園をやめたことにより全体としては半減しています。No.72市内産農産物を活かしたレシピ情報の発信におきましては、千葉市つくたべホームページにおいて、市内産農産物の旬やレシピ情報を紹介し、料理や農業、食に対する理解を促進することができました。土気からし菜生葉及び漬物の販売会を、わくわく広場あすみが丘BM店にて開催しました。農政課からは以上です。

(齋藤廃棄物対策課長補佐) 廃棄物対策課齋藤です。No.75からNo.81の説明になります。No.75新規、てまえどりの推進においては、買い物の時にすぐに食べる場合、商品棚の手前にある商品等、販売期限の近づいた商品を購入する「てまえどり」を呼びかけています。令和5年度は九都県市首脳会議で啓発キャンペーンを実施し、「てまえどり」を呼びかける食品ロス削減啓発ポスターを作成し、市内中学校や公共施設等に掲示しました。No.76新規、フードドライブの実施は、以前から実施していましたが計画上初めて記載しました。家庭で余った手つかず食品を公共施設等で回収し、市内でフードバンク活動を行っている団体に提供することで食品ロスを削減するものです。令和5年度は市役所、公民館など9か所で実施、回収量は約621kgでした。No.77の3R教育・学習の推進は継続事業になります。3R学習として未就学児を対象にへらそうくんルームを幼稚園、保育園など12か所で実施し、参加者数487人でした。また小学4年生を対象に生ごみを含めたごみ分別を学ぶ「ごみ分別スクール」を市内全校で実施、7,538人の児童に参加いただきました。人格形成に重要な幼少期に3Rの大切さを認識してもらうためにも啓発効果は高いと思われ、今後も継続していきます。No.78 生ごみの減量・再資源化の推進は生ごみの減量・再資源化を図るため、生ごみ減量処理機等を購入したものに対して費用の一部を補助しています。令和5年度については記載の通りです。次にNo.79、生ごみ資源化アドバイザーの養成・派遣は、市民の方に生ごみの分別や資源化について市民講師として活動していただき、学習会等を公民館等で行ってもらっています。令和5年度の実績は記載の通りです。No.80、学校における食品ロスの啓発では、児童

生徒に食品ロス削減の普及啓発を呼びかけるもので、普及月間の10月に校内放送での周知、給食だよりへの記事の掲載、校内のポスターの掲示等を実施しました。最後にNo.81、食品ロス削減に係る周知啓発の実施では、毎年事業者と連携して実施しています。また高校生以上の学生を対象に食品ロス削減のワークショップを実施し、学生からはアンケート結果に「非常に食品ロスについて向き合うようになりました」と関心の高い結果を頂いています。

(渡邊部会長) 続いて、施策展開4「食の安全・安心に関する情報の提供」について、生活衛生課からお願いします。

(田中生活衛生課食品衛生担当課長) 生活衛生課です。No.85～No.91、食の安全・安心等に関する情報の提供についての説明になります。具体的には食品衛生や食品表示に関する内容を市政だよりやホームページに掲載し、食中毒情報、警報等をSNSなどを通じて速やかに発信しております。

No.87.88、食の安全に関する講演会、食品の表示講習会や意見交換会は引き続き実施予定です。No.89、食品衛生法に基づき、営業施設の立ち入り検査や食品添加物の試験検査について監視指導計画に基づき実施し、結果については速やかに公表しています。No.91、食品衛生協会の食品衛生推進員である自主的な衛生管理体制の推進を図っています。以上については引き続き実施していきます。

(渡邊部会長) 最後に、施策展開5「食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立」について、健康推進課からお願いします。

(和田健康推進課長) 計画No.92、食育啓発イベント等の開催についてご報告いたします。資料2-2の一番最後のページの中ほどになります。健康推進課では、6月の「食育月間」に本部会委員の皆様や関係各課と連携し、市民の皆様に対し、食への関心や理解を深める機会を提供することを目的に「食育のつどい」を実施しております。令和5年度は、美浜区のイオンマリリンピア店において、食育講座の実施や、啓発リーフレットの配布、レクリエーション等のイベント及びパネル展を実施し、1,281人の方にご参加いただきました。

次に、資料4「令和6年度食育月間啓発イベント『食育月間パネル展』実施報告書」をご覧ください。今年度は6月に生涯学習センター及び市役所1階の市民ヴォイドにおいてパネル展を実施しました。パネル展にご協力くださいました出展団体の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。また、今年度のイベント「食育のつどい」につきましては、千葉県の食育月間の11月に、ペリエ千葉3階コンコースで実施予定です。報告は以上です。

(渡邊部会長) 続きまして、資料2-1「第4次千葉市食育推進計画取組一覧(食育推進部会員)」をご覧ください。

委員の皆様のご所属団体での令和5年度の食育活動の取組みになります。本日は、千葉市幼稚園協会、千葉みらい農業協同組合、千葉市食育推進員協議会、千葉市小中学校長会、千葉県栄養士会千葉地域事業部、日本チェーンストア協会関東支部、生活協同組合コープみらい千葉県本部、の7団体からご報告をお願いします。コープみらい千葉県本部につきましては、本日欠席のため私からご報告させていただきます。はじめに、千葉市幼稚園協会 鶴岡委員をお願いします。

(鶴岡委員) 千葉市幼稚園協会を代表いたしまして、ご報告いたします。例年6月の食育月間にあたりまして輪番で食育のパネル展に参加させていただいております。今年度は明德短期大学附属幼稚園認定こども園、認定こども園さつきが丘幼稚園が出展をいたしました。本園では食育活動の様子を写真等で掲載して紹介しました。市内のほとんどの幼稚園が畑やプランターで四季折々に色々な野菜を育てています。幼稚園教育要領の中では食べ物に関心を持ち人と一緒に楽しんで食事をする事が述べられています。野菜を育てる過程や収穫の喜びから食への興味や関心が芽生え、心と体を支えていくことを育てたいと考えています。保護者との会話の中で野菜を食べないことがいつも話題になります。その中で園で収穫した二十日大根等を塩もみして、塩もみは減塩という事があるので少量の塩ですが試食してみたり、グリーンピースや落花生をゆでて素の味を味わってみたり、じゃがいもでポテトサラダを作ったり、なすや里芋は味噌汁にさせていただいたりしています。他園でも、さつまいもやトウモロコシ、大根、トマト、お米、苺、カボチャなど色々な野菜を育てています。カレーやピザ作りをする園もあります。家では食べないのに「自分たちで作る野菜

はおいしい」と食べますので保護者はびっくりしています。体験の大切さとともに、食への小さな一歩ですが大きな意義があることを改めて確認できた取り組みでした。今後も継続していきたいと思います。年間の指導教育計画を立てており、どんな野菜を育てるかは子ども達の意見を聞いて決めていくと、より関心が高く責任をもって水やりをしたり色々な気づきをするようになりました。このような体験を家庭で話題にすることも大切だと思いますので家庭とも連携しあって食育を推進していきたいです。

(渡邊部会長) 続いて、千葉みらい農業協同組合 佐久間委員お願いします。

(佐久間委員) 千葉みらい農業協同組合 佐久間です。資料2-1のNo.7をご覧ください。(1) 出張授業は令和5年度の実績は幕張の人参、若葉区の秋冬ニンジン、お米など5品目で市内小学校に当JA職員が講師となって生産から販売までの過程を説明し、農家の苦労や食べ物の大切さなども含め話をしています。令和6年度も市内5校で実施予定です。(2) 食育活動では令和5年度農業体験としましては、当JAの女性部の協力を得ながら椎名小学校5年生が田植えや稲刈り作業等の体験をしていただきました。北貝塚小学校ではバケツでのコメ作りを実施し、青年部の活動でもじゃがいも・さつまいもの収穫体験を実施して食農活動を展開しており、今年度も同様に実施予定です。市内の小中学校における学校給食の食材の提供について、千葉市内産コシヒカリの米飯給食や野菜についても先ほど紹介した人参・大根など11品目を提供させていただいたところでございます。昨年度、しよいか〜ごで出荷の際に売れ残った農作物を生産者の協力を得て月2回第2、4土曜日に引き下げ品を市内の子ども食堂に無償提供をしています。しよいか〜ご農産物直売所は、地域農業の活性化を認められており、食のブランド「千」の認定を頂いたところでございます。農政課と協力して6月22日、23日にしよいか〜ご千葉店で食のブランド「千」の認定商品を店頭にて販売しPRしたところです。郷土料理では、女性部が例年太巻き寿司を市内小学校に出向いて実施していましたが、昨年度はコロナで中止となり、今年度は計画を実施できるよう勧めている所です。

(渡邊部会長) 続いて、千葉市食育推進員協議会 市橋委員お願いします。

(市橋委員) 千葉市食育推進員協議会市橋と申します。当協議会では子どもから高齢者まで生活習慣病・介護予防のための料理教室や親子料理教室、公民館、小学校などで食育推進活動を行っています。ライフステージに応じた食習慣を身に付けられるよう働きかけを行っている活動や高齢者などへの食育習慣の取組みを報告します。資料2-1 No.3 (2) をご覧ください。体験ゼミナールは千葉県立保健医療大学の学生を対象に伝達を実施し、バランスよく食べることを伝達するとともに、協議会の活動も周知しています。実際の地区伝達活動での調理実習で紹介するレシピ、オートミールリゾット、海藻サラダの白和えをデモンストレーションし、より身近に感じてもらうよう工夫しています。学生からも「初めてオートミールを食べたけど美味しかった」、「少しの工夫でバランスよく食べられることがわかった。」などの感想をいただきました。資料2-1 No.3 (3) 全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト(若者世代) をご覧ください。この活動は千葉聖心高校での伝達で実施日は令和5年11月7日です。具体的には朝ごはんの大切さを理解し、毎日食べる生活の継続とその内容を充実させることや食事バランスガイドを啓発することで栄養バランスの良い食事を理解し実践させることなどを高校生に向け発信しています。こうした若い世代への活動は、生涯にわたって健康な食生活の実践につながると考えています。当協議会も大事にしたい取組みの一つとして今後も継続を考えている所です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。続いて、千葉市小中学校長会 井本委員をお願いします。

(井本委員) 千葉市小中学校長会 井本と申します。食育のつどいでは資料2-1 No.4 (1) にありますように、学校給食の取組みや食育の重要性について紹介し、学校給食の栄養面、地元食材の使用、食育に対する取組みを説明し、来場者への食育啓発を行い、広く食育の啓発ができたと思います。次に資料にはないのですが、幸町第三小学校での取組みを2つ紹介します。1つ目は6月の食育の日に合わせた、食育の日特別メニューについてです。その日の給食のねらいは千葉市の人参を味わい、食育の日について理解を深めることです。メニューはご飯、牛乳、アジのレモン風味上げ、卵たっぷりスープ、スタミナニ

ンジン、メロンでした。その中でアジのレモン風味上げ、卵たっぷりスープ、スタミナニンジンのレシピを公開しさらに食育の日について説明する文章を添えています。臨時資料がありますが、これらメニューレシピは保護者に配信されています。2つ目は家庭での食育についてです。家庭での食育は以下の3点が大切だと考えています。1 家族で食卓を囲む、2 朝ご飯を食べる、3 お手伝いをしてもらうことです。朝食を一人で食べる子どもの割合は千葉県5年生の平均26.4%ですが、本校は20%となっています。大人と子どもの生活リズムが異なり、全員で時間を合わせることの難しさが伺えます。一人で食べるより誰かと一緒に楽しく会話をして食事をするほうがおいしく感じます。また、食事のあいさつ（いただきます、ごちそうさま）の意味、箸の持ち方、食器の持ち方など正しいマナーを身に付けるという事も学校給食を通して体験させ、家庭でもできるようになることを期待しています。朝ご飯を食べる習慣については、朝ご飯をとることで一日を過ごすための大事なエネルギー源となるだけでなく、体温を高め、体を動きやすくすること、体だけでなく脳にもエネルギーが補給されるため、勉強や仕事の効率が上がるという朝食の大切さを理解してもらう必要があります。本校の1～2年生においても朝食欠食が習慣化している児童が5%います。市全体では1～2%です。朝食の大切さを理解するための食育の授業を今年度も実施する予定です。本年度は家庭を巻き込んで実施する予定です。お手伝いに関しては一緒に食事の支度をしたり、買い物に行って食べ物の旬や選び方など色々なことを教えたりすることも食育ですので、保護者の協力を得られるよう学校と連携して食育を推進していきたいと考えております。

（渡邊部会長）ありがとうございました。続いて、千葉県栄養士会千葉地域事業部 篠原委員、お願いします。

（篠原委員）千葉県栄養士会千葉地域事業部 篠原と申します。No.9（2）食育・健康料理教室は平成16年度より健康づくりと生活習慣病の予防、食育推進を目的として野菜や果物の摂取量増加、減塩対策を重要課題とし県民に直接、望ましい食と栄養について実習を通じて働きかけています。2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類となり、約4年ぶりに県内4地区で対面開催ができました。成人向け料理教室と親子料理教室の2種類がありま

す。千葉地域事業部としては親子料理教室を毎年実施しております。2023年度のメインテーマは「おいしくたのしく食事で元気」サブテーマ、成人向けは「適度な塩分で百歳を目指そう」、親子料理教室では「おいしく楽しく元気～やさいとなかよくなろう～」です。親子料理教室は10月14日（土）に千葉市きぼーるで開催し、市内小学生の親子4組の参加がありました。内訳は小学校6年生、4年生、2年生、1年生です。調理実習の注意点として安全に調理ができるよう親子2組に対しスタッフ1名を配置し、旬の食材を使用。アレルギー表示をし、食育の講話の中にクイズも取り入れて楽しく学んでいただきました。料理教室終了後にアンケートを実施し、実態把握や今後の課題に取り組んでいく予定です。県栄養士会ホームページに掲載しています。料理教室後、児童の84%が「お家でも作ってみたい」と思い、料理やメニューに興味を持っていただきました。今後お家での手伝いの割合の増加につながればと期待しています。栄養士会として引き続き児童の心身の発達や千葉県の地産地消、県民の健康保持と生活習慣病の一次予防への貢献に努めていきたいと思っております。

（渡邊部会長）ありがとうございました。続いて、日本チェーンストア協会関東支部兼松委員、お願いします。

（兼松委員）日本チェーンストア協会関東支部 兼松でございます。イオンリテールの社員でマリンピア、幕張新都心、稲毛、鎌取の小売業をしております。資料2-1 No.2（1）食育のつどいについて、イオンリテールとしての取組みになりますが、日本全国イオン400店舗あり、そのお店ごとにチアーズクラブがあり、小学校1年生から中学校までのお子さんを募集して、年間色々な環境や農業などの色々なテーマで活動しています。年に1回発表会がありコンテストや全国大会があり、パネル作成を食育について実施しています。（3）については、チアーズクラブでは、保護者の方の家で「おうち農業」として千葉市農政課と指導の元、家庭菜園を実施しました。また、今年度は市の指定管理農業施設を使い、年3回市内8店舗において、ブルーベリーやさつまいも、人参、ネギなどの収穫体験を実施しております。（2）千葉市フェアはイオンスタイル鎌取で実施し、毎年、市長にも来てもらっており、地産地消の新しい商品を紹介しています。商品を販売するだけでな

く、健康イベントや運動習慣の体操などイベントを通じて実施し、今年は8月31日に市長も来て、食のブランド「千」の訴求を実施予定しております。（4）はマリニピアでのイベント、6店舗で減塩コーナーを設置して啓発を実施します。私も4月に着任し事業を引き継いでいます。我々、小売業は商業を通じて地域社会に貢献するとありますように、お客様に色々なものを販売しています。我々の強みはお客様がたくさん来られ、たくさんのメーカーと取引しています。千葉市と協定を結んでいるメーカーさん、場所も一つのツールであり、たくさんの店舗で数万人が来たり、いかにその強みを生かせるか、千葉市民に健康増進、いかに食育をすすめるか、減塩、フードロスが課題だと感じています。資料1-1の食育の取組み、家庭・地域・職域の取組み、幼稚園、持続可能、全て自分たちの事業に関わってくることだなと感じました。お客様、メーカー、行政と一緒にやっていくのが一番良いかなと感じ協力していきたいです。市の職員とも話し、3年間でプロジェクトを成功させたいと夢を抱きました。私どもは全国転勤しており、色々な県や市との取組みをたくさん経験しており、皆さんと一緒に盛り上げていきたい、大きくすればするほど市民の方に届くものだと思います。そういう意味で、食育とおにぎりプロジェクトとして小中学生や高校生の生徒が考えたおにぎりを提供できればと考えています。おにぎりはZ世代から大人まで食べるものです。コープの取組みも素晴らしい企画ですが負けない取組みを考えています。今日言った時点でやらなければいけないと思っていますのでよろしくお願いします。

（渡邊部会長）ありがとうございました。想いもよく伝わりました。最後に生活協同組合コープみらい千葉県本部安達委員に代わりましてご報告いたします。

（生活協同組合コープみらい千葉県本部（渡邊部会長））資料2-1 No.1 生活協同組合コープみらい千葉県本部をご覧ください。6つの取組みがありますが、今回は（5）大学と連携した健康に配慮した弁当開発及び販売及び（6）行政と連携したPOPを活用した健康情報の提供についてご報告いたします。資料7をご覧ください。本日、お弁当のご試食を希望された委員の皆様には、コープデリ生活協同組合連合会と女子栄養大学が共同開発したお弁当を召し

あがっていただきました。こちらは、国のスマートミールの基準を満たし、健康に配慮されたお弁当です。資料7裏面をご覧ください。スマートミールとは、健康づくりに役立つ栄養バランスのとれたメニューで、1食のうち、主食・主菜・副菜が揃い、食塩のとりすぎに配慮したものになります。また、対象に合わせて、「ちゃんと」と「しっかり」の基準が定められています。「しっかり」の方が、エネルギーが多く、「ちゃんと」は少し軽めの女性向けと考えて頂ければと思います。今回、ご試食いただいた「かつおまみれの鶏から弁当」は、40代女性やシニア世代、昼食で外食の多い健康が気になる40代男性を想定し、スマートミールの「ちゃんと」の基準を満たすため、メインの揚げ物に加え、野菜は140g以上も入っています。また、減塩のポイントとして「かつおだしのうま味」を活用するなど、食塩の使用量が少ないにも関わらず、物足りなさを感じにくい工夫がされています。また、掛け紙にイラストを掲載しお弁当の内容を確認しながら食べられたり、容器を青色にするなど、学生の斬新なアイデアが盛り込まれた内容になっています。通常お弁当は青を使わないのですけれども、暑いから涼しげだなと私も感じました。今回が第2弾ということですので、今後もこのような取り組みが続くといいと思います。続いて、(6)行政と連携したPOPを活用した健康情報の提供について報告します。こちらは、昨年度、千葉市と生活協同組合コープみらいが「SDGs推進に向けた包括連携協定」を締結し、連携事項の一つとして、「健康増進・食育に関すること」が記載されています。今年度は、6月にコープ3店舗においてプライスレールに、野菜摂取量増加や、減塩、栄養成分表示の啓発などのPOPを掲示するという形で取り組みを実施しました。

(渡邊部会長) その他、取り組みの報告や、千葉市の取り組みに関してのご質問などありましたら、お願いします。

〈長谷川委員 挙手〉

長谷川委員、お願いします。

(長谷川委員) 資料2-1の食育推進員協議会の発表を興味深く聞かせてもら

いました。（３）の活動がすごく良かったのに、令和６年度取組みがないので続けてもらえたらいいかなと思います。

（市橋委員）こちらは厚生労働省の国庫プロジェクトでした。私どもは名称が変更され、県の協議会、国の協議会から退会しました。市の独自の計画として取り組んではいくつもりです。国庫補助事業ではなくなっただけです。

（長谷川委員）減塩の対策が一番大変だと思います。減塩については今年度から新規事業と設定されていて課長の報告で何をするかよくわかりました。ただ、行政だけでなく、チェーンストア協会など様々な機関と連携して取組みを是非していただきたいと思います。

（渡邊部会長）議題３「その他」について、まず、私から今回皆様にご協力いただきました「食育推進に係るアンケート」についてご説明させていただきます。

議題３「その他」

（渡邊部会長）資料３「食育推進に係るアンケート調査結果」をご覧ください。対象は千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会員１６名で回収率は１００％です。調査結果は、食育の推進にあたり課題があると感じている割合は、「はい」が５６％、「いいえ」が４４％でした。「はい」と回答した方の具体的な課題の内容について、「子どもを取り巻く環境」、「歯科について」、「市民全体への啓発」の３点がありました。まず、「子どもを取り巻く環境」は、小中学校の教職員の食育への温度差があるため給食を生きた教材として活用することが子どもだけではなく教職員への啓発につなげること、家庭との連携や他の教育活動との調整の必要性、成果の測定や評価・改善の仕組みづくりについての記載がありました。次に、「歯科について」としては、幼児の咀嚼力の低下による窒息事故防止への取組み、注意喚起の必要性、食育と歯科の連携についての記載がありました。最後に、「市民全体への啓発」としては、食塩摂取の適正量、食生活への意識、行動変容に向け

た働きかけ、20～30代へのアプローチの難しさ、多団体との連携・協働の重要性についての記載がありました。これらをまとめますと、食育に関して半数以上の割合で課題を感じており、大人が知識や意識を持つこと、特に、青年期・壮年期への啓発が重要である反面、その方法については課題があると整理しました。私からはこのように報告させていただきたいと思います。

（渡邊部会長）ただいまの報告に対して、ご意見等はございますか。

〈鈴木委員 挙手〉

鈴木委員、お願いします。

（鈴木委員）千葉市PTA連絡協議会副会長の鈴木です。アンケートは、私も回答しました。部会長より紹介あった資料7のお弁当を食べ、とても美味しかったです。個人的見解としては、参加させていただいた中で私の認識が低いのかもしれないのですが、こういった取組みを全く知らなかったことです。食育の話は分かっていましたが千葉市全体でこういう活動が認知されていない現状はあったと感じました。井本委員や兼松委員の報告にあったように、私はPTAになって初めてPTAの活動が見えてきました。今3年目で非常に感じているところです。今年のPTAのイベントとして、役員だけでなく保護者全員が参加していただけるようなものを考えています。保護者も一緒に、という話をされ、小学校に出向いたりするのも良い活動ですが、是非保護者も一緒に伝えるような形にしてもらうことが重要ではないかと感じています。子どもだけが参加して家に持ち帰っても、両親が共働きで忙しい中で、子どもの話をしっかり聞かないというところも背景としてありますので、保護者も交えて一緒に子どもと一緒に活動できる食育を目指していけたらと考えています。

（渡邊部会長）ありがとうございました。子どもだけでなく教職員や保護者を巻き込んでいくこと非常に重要だと思います。他にご意見があればお願いします。

〈永井委員 挙手〉

(渡邊部会長) お願いします。

(永井委員) 噛まずに飲み込むことが非常に多く、食べるものが柔らかいなど原因があると思いますが、歯科的には噛むことが非常に大切だということを広報活動でしていく予定です。令和6年度は千葉市、ロッテおよび千葉市歯科医師会が三者協定を締結しました。目的としては歯と口を通じた市民の健康づくりということですが、ロッテの商品の咀嚼チェックガムを広報活動の中で使っていきながら、噛むことが非常に大事で健康につながるということを周知することで課題が解消されていくのではないかと思います。それに向けて千葉市歯科医師会も活動していく予定ですのでまたご報告させていただきたいです。以上です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。永久歯が一生そのままなことをいつい忘れがちなまま年齢を重ねてしまいますが、是非口腔内の大切さを伝えていっていただきたいと思います。今のアンケートを見ますと青年期・壮年期や意識への働きかけが重要と思われますが、青年期・壮年期や意識の低い人への取組みを教えてくださいなのですがいかがでしょうか。

〈井本委員 挙手〉

(渡邊部会長) お願いします。

(井本委員) 学校で授業を実施しており、先生方は食育の授業のために、教材研究を行っています。食育に関する知識を自分で勉強し、事前に準備をして、かみ砕いて子どもたちに教えています。食育の授業をやることで子どもたちの知識を増やしてあげることができ、家庭も巻き込むことで、保護者にも知識を伝えることができます。また先生方は青年期・壮年期であるため、先生達自身の意識改革につながるのではないかと考えています。

(渡邊部会長) ありがとうございます。この他に青年期・壮年期や意識の

低い人達に向けた取組み等を実施されている方はおりますでしょうか。ないようでしたら、事務局のほうで何か青年期・壮年期に向けた取組みを実施していましたらご報告をお願いします

(和田健康推進課長) 意識の低い方に向けた取組みというわけではないですが、青年期・壮年期に向けた取組みについて2点ご報告します。

まず1点目は、「食育情報誌」についてです。資料6「千葉市 食育&消費者教育情報誌 おいしくタベルたのしくマナブV01.9」をご覧ください。こちらは、小学生やその保護者等を対象として、関係機関や市内大学の協力のもと、20,000部を作成し、小学校3年生と4年生全員に配布しました。子どもにも興味を持ってもらえるような工夫として、クイズや計算のページを取り入れたり、大人に向けての情報発信を行ったり、レシピのページは親子で調理をすることを記載する等、保護者に対する食育の啓発の視点も取り入れています。

2点目は、お手元に資料の用意はしていませんが「健康づくり推進事業所認証制度」についてです。千葉市では従業員の健康増進に一定水準以上取り組む市内の事業所を「千葉市健康づくり推進事業所」として認証しています。認証を受けると、食育を含む健康づくりに関する従業員向けの出前講座の無料実施や健康づくりに役立つ情報が定期的な届くなどの特典を受けることができます。以前から行っていたものとなりますが、昨年7月にこの認証制度の一部を改正し、事業所の取組状況に応じて、グリーン・ブルー・スカーレットの3つの区分で認証するようにしました。3つの区分のうち、中・上位クラスであるブルーとスカーレットの認証基準に「食生活の改善に向けた取組み」を追加し、社員食堂や仕出し弁当等で健康に配慮した食事のための環境整備をしているなど、具体的な項目を提示し、事業所での取組み推進を図っています。従業員が健康でいることは、会社の生産性の維持及び向上につながります。また、従業員を大切にすること会社という社会的評価を得ることで、会社のイメージアップや人材の確保・定着にも寄与できるのではと考えております。

(渡邊部会長) ありがとうございます。委員の皆様から色々なご意見が出てきて、なるほどと思うことが多いのですが、私は、学校給食はKEYであると

思います。学校給食は子どもたちが毎日、教職員も一緒に食べているもので、各学校にとって宝物だと思います。給食は栄養士だけでなく学校全体の教職員が関心を持って、より美味しい給食になるようにアドバイスをしていくと良いと思います。また、食べる量である給食のエネルギー量は、中学までは順調に増えていきます。しかし、18歳以上は大人ですから必要エネルギー量は落ちてくるため、先生方が子どもと同じように食べていたら、瞬く間に体格が大きくなり過ぎる方が出てきたり、子どもは自分の体格と比べて先生は大きいから、たくさん給食を盛ってくれて、先生も子どもに悪いから残さず食べることで、お互いが良かれと思うことで肥満になったりします。学校給食が望ましい食事であると、毎日目で見えて覚えるのは大事ですが、先生方も私が食べるのはこのくらいの量だと理解すれば学校全体の食育も動くのではと思います。先週末、全国の教職員の研修で徳島県の事例報告を伺いました。徳島県では、食育推進計画と並行して徳島県学校食育指導プランを教育委員会で作っており、すでに三次を計画しています。そのため、各学校の教職員が食育を学校としてどうやって行くべきかということを周知されています。事例として阿波の中学校は、一つの学校給食センターで二千何百人の給食を賄い、小学校11校、中学校4校の食育を、栄養教諭3人で行っています。阿波では温度差がないため、栄養教諭が各学校に行くと、どの学校でも、栄養教諭は次にいつ来てくれるんだと言われるそうです。また、栄養教諭が行けない時は学校の中で食育を代わりの先生が行うそうです。このように教育委員会が食育指導プランを作り周知することは重要であると考えました。食育を学校全体で実施し、子どもも教職員も健康になれば、子ども達もさらにやりたいことができます。そのためには、教職員以外とも連携して協力することがすごく大事です。鈴木委員の保護者を巻き込んでとお話がありましたが、そのためには給食だよりの活用が大事です。給食の献立とか給食だよりは、その学校の校区のスーパーにはいつも貼っておいてほしいです。これがおすすめメニューです、とかこれは子ども達の人気No.1メニューです、といった給食だよりが貼ってあれば保護者等のお客様がメニューに困った時にヒントになります。また、そのメニューを惣菜として取り入れたお弁当もできるのではないかと考えます。千葉市の保育所のメニューもすごく好評なので、それも掲示してもらってはどうか。千葉市は阿波のように一つの給食センターが全市のメニューを作っているわけではなく、各学校や保

育所でその子どもたちの達の給食を作っていることを大事にして生かしていけば、千葉市らしいよりよい食育ができます。さらに、青年期・壮年期の方も教職員や保護者にいらっしゃるので一緒に食育ができるのではないのでしょうか。ワクワクした食育でないと実践できないので、先生方もお話しする際は食べるって楽しいよね、ワクワクするね、ということも伝えて、みんなで食育をやっていければ良いかと思います。私の意見を述べさせて頂きました。

(渡邊部会長) それでは議題3のその他について千葉市の方から追加で説明いただけますでしょうか。

(和田健康推進課長) 3点連絡事項がございます。

1点目は第4次千葉市食育推進計画の啓発媒体について、少し説明させていただきます。今回作成したリーフレットは本計画の課題である朝食、共食、野菜摂取、減塩を中心に啓発する内容を記載しております。食育は子どもだけでなく、全世代に対し生涯に渡って続くものということをイメージして作成しました。リーフレットにつきましては保護者会などでの配付をご検討いただきたいと思います。同じく、リーフレットの一面と同様の内容でA3サイズのポスターを2,200部作成しました。幼稚園、保育園、小、中学校、三師会会員の先生方に配付しておりますが、是非、掲示のご協力をお願いいたします。この他に、公民館、スポーツ施設などにも配付させていただく予定です。

2点目の連絡です。11月9日(土)「千葉市食育のつどい2024」の開催についても、今後出展団体様と事前打合せ等させていただく予定ですのでご協力の程、よろしくお願いいたします。

3点目は最後に、次回の本部会開催についてです。今回は、来年度の開催となりますので、今の時点では今年度の予定はございません。緊急を要して開催しなければならないという状況が生じましたら部会長とご相談をさせて頂ければと思います。計画推進取組みの実績、進捗状況等報告していただき、皆様と食育の推進をすすめていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

(渡邊部会長) ただいまの説明に関し、委員の皆様からご質問等、ございますでしょうか。先程、減塩の話がありましたが今は45%の減塩の醤油が普通に販売されています。食塩も減塩された塩が売っています。皆さんが料理を作るときに45%の減塩の醤油を使えばいつもの半分の食塩量で料理ができます。そうすると苦痛なくいつもと同じ量だけど自然に減塩できる料理を家庭でも作れます。こういった誰にでもできる工夫の周知を行う必要があります。味噌も食塩量がずいぶん減っているものもあります。味噌汁は、大体いつもの味噌の量を入れる方がほとんどです。そこで、お料理を作る担当の方が減塩された味噌を選択されれば本当に苦痛なく自然に減塩できます。こういった周知をチェーンストア協会さんやそれぞれの団体様のお料理教室で行ってもらえればと栄養士としては思います。

それでは、以上をもちまして、本日の審議を終了させていただきます。

皆様方のご協力により、円滑に審議を進めることができました。誠にありがとうございました。以上で、令和6年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会を閉会いたします。この後は、事務局の方にお返しします。

(石原健康推進課長補佐) 渡邊部会長、ありがとうございました。

【終了】

午後8時40分閉会

令和6年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会議事録を承認します。

署名人 渡 邊 智 子 

自署または記名押印